

町田市都市計画マスタープラン（地域別構想編）改定

# 「まちづくり検討会」提案書

2012年（平成24年）3月

町田市都市計画マスタープラン（地域別構想編）改定  
「まちづくり検討会」



# 目 次

## 1. 提案にあたって

1-1	まちづくり検討会について .....	1
1-2	まちづくり検討会の経過 .....	3

## 2. 各地域の提案

2-1	相原地域 .....	4
2-2	小山・小山ヶ丘地域 .....	14
2-3	北部の丘陵地域 .....	30
2-4	忠生地域 .....	40
2-5	本町田・薬師池地域 .....	50
2-6	鶴川地域 .....	61
2-7	玉川学園地域 .....	70
2-8	町田中心地域 .....	82
2-9	成瀬地域 .....	97
2-10	南地域 .....	109

## 参考資料

- ・町田市都市計画マスタープラン（地域別構想編）改定  
「まちづくり検討会」参加者名簿



## 1. 提案にあたって

---



# 1-1 まちづくり検討会について

## 「まちづくり検討会」について

町田市では、2011年6月に改定された町田市都市計画マスタープラン(全体構想編)を受け、市内を10の地域に分けて、各地域の将来像とそのために実施する施策等を示す「地域別構想編」の改定に取り組んでいます。

「まちづくり検討会」は、この「地域別構想編」改定の過程において、市民の意見を把握・反映していきたいとの市の呼びかけに対して集まった市民118名で構成する、主体的に地域のまちづくりの方向性を検討する、連続ワークショップ形式の検討会です。

### ～都市計画マスタープランの10地域～



「まちづくり検討会」は、2011年8月7日の事前説明会の後、計5回開催され、第1～3回まちづくり検討会では、地域の魅力・課題について議論しました。中でも第2回検討会では、地域に出てまち歩きを行い、これまで知らなかった地域の魅力や課題を発見し、またメンバー同士で共有することができました。第4～5回まちづくり検討会では、将来像とそれを実現するための取組みのアイデアについて検討しました。中には、検討の内容を深めるために自主的な検討会をもった地域や、隣り合う地域のメンバーが意見交換を行う合同の検討会も開催されるなど、提案に向けて熱い議論が繰り広げられました。また、検討にあたっては、より幅広く市民の意見を取り込めるよう、市で実施した「町内会・自治会アンケート」や「子育て世代へのグループヒアリング」の結果も、資料として活用しました。

各検討会は、地域別に各回のテーマを話し合った後に、全体で当日の検討内容を発表し合う形式で進められました。なお、各検討会の終了後には、検討会の様子を市民に広く知っていただくために、「まちづくり検討会ニュース」を発行しています。

2012年3月18日に開催の第6回目が、広く市民に検討の成果を発表する「提案発表会」となります。ここに提案書がまとまりましたので、市民の検討の成果として、都市計画マスタープラン(地域別構想編)改定、ひいては地域のよりよいまちづくりに活かされるよう、市に提出するものです。

### 検討の様子



まちづくり検討会の様子



まちづくり検討会（発表）の様子



自主検討会の様子

### 第2回まちづくり検討会（まち歩き）の様子



### 提案書の構成について

本提案書は、地域ごとに、「(1) 地域の魅力・課題」と「(2) 将来像と取組みのアイデア」の2部構成となっています。

「(1) 地域の魅力・課題」は、地域のまちづくりを考える中で、今後も大切にしていきたい「魅力」と、不安や不便・不満などを感じている「課題」をテーマごとに表形式で整理した上で、即地的な内容を視覚で読み取りやすいよう、「魅力・課題マップ」を作成しました。

「(2) 将来像と取組みのアイデア」は、地域のめざすべき将来像を3～6点掲げ、その実現のための取組みのアイデアをまとめています。

# 1-2 まちづくり検討会の経緯

<Aグループ> ① 相原地域 ② 小山・小山ヶ丘地域 ③ 北部の丘陵地域 ④ 忠生地域 ⑤ 本町田・薬師池地域	<Bグループ> ⑥ 鶴川地域 ⑦ 玉川学園地域 ⑧ 町田中心地域 ⑨ 成瀬地域 ⑩ 南地域
--	--

	回・日時	主な内容
2011年	<b>事前説明会</b> A, Bグループ：8月7日（日） 14：00～15：30	<b>「まちづくり検討会」が始まります！</b> ○都市計画マスタープラン（地域別構想編）改定の趣旨 ○特別講演 ○まちづくり検討会の目的・進め方
	<b>第1回</b> Aグループ：9月3日（土） Bグループ：9月4日（日） 14：00～16：30	<b>地域の特長・課題を出し合おう！</b> ○関心事項の出し合い ○まち歩きルートの決定
	<b>第2回</b> Aグループ：10月1日（土） Bグループ：10月2日（日）	<b>まち歩きで特長・課題を確認しよう！</b> ○まち歩き ○まち歩きの振り返り
	<b>第3回</b> Aグループ：10月15日（土） Bグループ：10月16日（日） 14：00～16：30	<b>特長・課題マップをまとめよう！</b> ○特長・課題マップの作成 ○地域の将来像の検討
	<b>第4回</b> Aグループ：12月11日（日） Bグループ：12月18日（日） 14：00～16：30	<b>地域の将来像を考えよう！</b> ○地域の将来像・方向性の検討 ○取組みのアイデアの検討
2012年	<b>第5回</b> Aグループ：1月22日（日） Bグループ：1月29日（日） 14：00～16：30	<b>提案書をまとめよう！</b> ○取組みのアイデアの検討 ○実現のための主体
	<b>第6回</b> A, Bグループ：3月18日（日） 13：00～17：10	<b>地域の提案を発表します！</b> ○提案内容の発表 ○提案書について意見交換

## 2-1 相原地域

### (1) 地域の魅力・課題

#### ■多様な地形・里山の環境について

<b>魅力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな自然があり、雑木林や山菜が豊富である。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大戸緑地は、クヌギの雑木林や木漏れ日など、自然が豊かなみどりの資源である。</li> <li>・横浜線のトンネルの横には、冒険が出来そうな沼地がある。</li> <li>・サンショウの木や、セリやツクシ、ヨモギやフキノトウが自生している所などがあり、自然環境がよい。</li> </ul> </li> <li>●多様な地形が感じられる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原には、陣馬山、高尾山、道志山系から始まる関東平野の端に位置するという地形の面白さがある。</li> <li>・坂道が多い。(坂下、元橋、丸山団地周辺など)</li> <li>・元の地形が残っていることで、昔の人の暮らしを思い描くことができる。(八木重吉の詩がよくわかる。)</li> </ul> </li> <li>●雄大な眺望を望むことができる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から見える丹沢の山々と夕日が素晴らしい。ほんの少しだが、富士山も見える。</li> <li>・青木梅園のある丘の360°の眺望が素晴らしい。</li> <li>・地域で最も標高が高い草戸山(標高364メートル)からの眺望が素晴らしい。</li> </ul> </li> </ul>	 <p>特別緑地保全地区のみどり</p>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南北道路の計画により、青木梅園のある丘からの素晴らしい眺望が失われるのではと危惧している。</li> </ul>	

#### ■自然とのふれあいについて

<b>魅力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホタルのいる環境が残っている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原には、ホタルが出る場所が多くある。大戸や大地沢青少年センター周辺、武蔵岡中学校、丸山団地裏などでは、夏にホタルが飛び交う。</li> </ul> </li> <li>●駅の近くに美しい景観の梅林がある。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅西側の梅の小道の美しい風景が良い。</li> <li>・地域の貴重な資源である。</li> <li>・駅前からすぐの場所に立地しているという点でも貴重である。</li> </ul> </li> <li>●豊かな自然の中の散策路が良い。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・土の道だけで散歩が出来る。三時間位は十分歩ける。</li> <li>・散歩道は、車が通らなくて良い。車が通らないおかげで、土の道、水たまり、虫の音など、豊かな自然が残っている。季節ごとの野の花の移り変わりが楽しい。</li> </ul> </li> </ul>	 <p>豊かな自然の中の散策路</p>
-----------	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フットパスや散歩道が多く存在する。</li> <li>●境川が良い。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・くねくねと蛇行している面白さがある。</li> <li>・川沿いには、沼川の竹林、ケヤキなど、変化のある景観がみられる。</li> <li>・堺市民センター裏の境川には、クルミの木が多くある。</li> <li>・相原根岸せせらぎ公園では、水に触れ合うことができる。</li> </ul> </li> <li>●芝生公園は身近な公園として良い。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸山団地の北にある芝生広場は、身近に集まれる場として大変良い。子どもも遊べる空間である。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宅地開発による自然破壊が心配である。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原駅周辺や中相原でミニ開発が盛ん。今後さらに進むことが予想される。</li> <li>・陽田東地区周辺（横浜線の東側周辺）の宅地開発拡大による自然破壊が懸念される。</li> <li>・梅林の周囲でミニ開発が進んでおり、梅林の保全が懸念される。</li> </ul> </li> <li>●狭く暗い小道が通行しにくい。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩道が多いなどの良い面もあるが、道が狭いのが問題である。</li> <li>・相原中央公園から東京家政学院大学にかけての道は、道幅が狭く、夜は暗くて、歩くのに不安である。</li> </ul> </li> <li>●大戸緑地に訪れにくい             <ul style="list-style-type: none"> <li>・道が狭く路面も良くないため、大戸緑地に車で訪れることができない。</li> </ul> </li> <li>●陽田川の水が汚い。</li> <li>●境川が身近に感じられない。             <p>《散策路、親水空間の整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川整備により、地面から境川の川面までの深さが深くなったため、水辺で遊べる環境ではなくなった。また、民地が近いところも多く、川面まで遠い。</li> <li>・護岸などは、水辺の雰囲気を感じられない。</li> <li>・川に触れあえるような親水空間がない。</li> <li>・河川整備は必要だが、暗渠化は良い方法とは思えない</li> </ul> <p>《自転車道としての活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修済みの両国橋までは、河川管理用通路が整備されているが、その先は途絶える。</li> </ul> <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水が汚い。</li> </ul> </li> </ul>



境川。川面まで遠い

## ■生活環境について

<p><b>魅力</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学生が多い一方、高齢者施設も多い。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設が多い。</li> <li>・学生が多いため、特に相原駅西側周辺にアパートが多い。</li> </ul> </li> <li>●相原中央公園が良い。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原中央公園は、30年ほど前、小学校の若い先生（現園長）たちが鍬で手作りで整備したサッカー場が始まり。現在では、相原フットボールクラブや町田ゼルビアなどが出来て地域にサッカーも根付き、良い地域資源となっている。</li> </ul> </li> <li>●新鮮な地元の野菜が手に入る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜スタンドが多くあり、新鮮な地元の野菜が手に入る。</li> </ul> </li> <li>●こだわりの店が数多くある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・養鶏場併設のプリン工房、オーダーメイドの靴、木工品、弓道具、雑貨、コロッケ（空き店舗を借りて開店（再開））など、自ら開発した品物売るこだわりの店が点在している。</li> </ul> </li> <li>●その他。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・風俗関係の施設が一切ない。子育て環境に向いている。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●丸山団地周辺などで、住宅地環境の悪化がみられる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸山団地のアパートの空室、空家が増えている。</li> <li>・丸山団地周辺は第一種低層住居専用地域だが、店舗や事務所等も多くある。</li> <li>・丸山団地の住宅地内に駐車場が多く点在している。</li> </ul> </li> <li>●商店・小売店が少ない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店、小売店が少ない。</li> <li>・相原駅西口に商店街がない。</li> </ul> </li> <li>●医療施設に不備・不足がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設に不備・不足がある。子どものための医療だけでなく、高齢者医療も不足している。</li> </ul> </li> <li>●災害時の対応が不安である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原地域は、市域の西端に位置するという特性から、災害時には、交通網の寸断等により、物資の供給等の公的支援が期待しにくい。</li> <li>・東日本大震災の際、帰宅困難者への対応に関して、堺市民センターの職員に裁量性がないことが問題となった。防災拠点としての機能が不十分である。</li> </ul> </li> <li>●農地の規模が小さく、特産品がない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原地域の農地は、農作物をつくり出荷するには規模が小さい。現在、生産者は数人。その他は家庭菜園に貸し出している。</li> <li>・昔は、相原地域の特産品は「長芋」と言われていたが、現在は特産品がない。</li> </ul> </li> </ul>



点在するこだわりの店

■交通について

課題

●歩道の整備が不十分である。

- ・八千代銀行付近から西側の町田街道の歩道を十分に確保できないか。車や自転車、歩行者が安心して通行できる幅員が確保されていない所がある。安心して歩ける歩道の設置や拡幅が必要である。
- ・歩道がないと自転車も通れない。町田街道は自転車利用者側からみても怖い。安心して通行できる自転車通行帯の整備や規制が必要である。
- ・特に長福寺付近は、歩道がなかったり狭い場所があり、自転車や歩行者が危険。
- ・大戸交差点から先は歩道がなく、暗くて歩くのも不安。自転車・バイクの事故が多い。特に、車道に出る自転車が事故に遭いやすく危険。また、通学路にもなっているため不安を感じる。



町田街道の狭い歩道



住宅街の幅員 6mに満たない道路



丸山団地の急勾配の坂道

●道路網の整備が不十分である。

- ・車、自転車、歩行者が安全に通行できる幅員6メートル以上の道路が少ない。また、町田街道のほかに6メートル以上の幅員の道路が現状ではほとんどなく、コミュニティバス（循環バス）の実現を妨げている。
- ・南北間の交通アクセスが不足している。東西のアクセスとしては地域の動脈である町田街道、南北のアクセスとしては都市計画道路（町3・4・49）が、現在、市の施工で整備中だが、町3・4・49が開通しても依然として、南北道路は不足状態である。
- ・道路がないと、魅力である自然にたどり着けないこともある。一概に道路整備が悪いというわけではなく、道路整備の必要はある。
- ・南北道路不足の解消が求められるが、道路整備が自然環境に与える影響は大きく、一度失われた自然環境を取り戻すのは難しい。
- ・大戸踏切のアンダーパスの整備が進められているが、整備後の交通量の増加を見込むと、その先の渋滞が不安である。

●公共交通の利便性が悪い。

- ・相原駅前のバス乗り場が不便である。
- ・バスに頼る生活だが、本数が少なく不便。まちっこ（市民バス）の本数も少ない。京王バスと神奈中バスの問題や、八王子市との問題もあると思うが、相互乗り入れなどできないか。延伸、増発してほしい。
- ・東京医大八王子医療センターを利用する住民は多いが、直行する公共交通機関がないため、車がないと、バスと電車を乗り継いで大きく迂回せざるを得ない。
- ・丸山団地周辺は坂が多く、高齢化とともに高齢者の足の確保が問題になるのでは。

## ■歴史・文化について

<b>魅力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史ある寺社・史跡が点在している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大戸観音堂や八雲神社、圓林寺、行昌寺、長福寺、諏訪神社、清水寺など、町田街道に沿って、歴史ある神社、寺院が多く点在している。</li> </ul> </li> <li>●地域の祭りが盛んである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大戸ばやしなど、歴史のあるお囃子が残っていて、山車も良い。</li> </ul> </li> <li>●地域ゆかりの文学に描かれた風景が残っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中村雨紅の夕やけ小やけの歌碑がある。</li> <li>・相原ゆかりの詩人・八木重吉の詩にも描かれた風景が残っている。</li> </ul> </li> <li>●歴史あるお屋敷や古い釜跡など、歴史を感じさせるものが多い。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相原駅東口には、古い歴史あるお屋敷が多い。</li> <li>・古い釜跡が数十基残っている。</li> <li>・古い石像物が多い。「相原町の石像物」という資料に詳細な調査がある。(鎌倉古道を復元するときに調査、作成したもの。まちだ史考会作成、H19.5)</li> <li>・御殿山・七国峠の「鎌倉古道」は地域の貴重な歴史的資源である。</li> <li>・大戸交差点から法政大入口に向かう坂は、古くは「恋路峠」と呼ばれ、古い逸話も残っている。</li> </ul> </li> </ul>	 <p>諏訪神社</p>  <p>歴史を感じさせる青木家屋敷</p>  <p>七国峠の鎌倉古道</p>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歴史資産・文化施設が十分に活かされていない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史ある寺社・史跡が数多く点在しているが、道標がないため分かりづらい。</li> <li>・御殿山・七国峠の「鎌倉古道」がはっきり分からない。歩けるように整備されていないところもある。</li> <li>・地図・観光マップは多いが、あまり知られていない。</li> <li>・寺社・史跡に公共トイレが少ない。また、まちなかの公共トイレは偏在している。</li> </ul> </li> </ul>	

## ■地域コミュニティについて

<b>魅力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●祭りによる地域の繋がりがある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・11 町会・自治会各々で地域の行事が盛ん（盆踊り、中央公園のイベントには約 1 万人もの人々が訪れる）で、地域の繋がりが強い。</li> </ul> </li> <li>●大学が多く立地している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学が多く立地しており、多くの学生が相原駅を利用する。</li> </ul> </li> </ul>	
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域では囃子や御輿など世代間交流の機会が多いが、駅周辺では地域の集いが少ない。</li> <li>・相原駅周辺に学生が集まれるような場所や店がない。アルバイト先も少ない。</li> </ul>	

## ■その他

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の相原のままで充分よい。(建物を建てたりしなくてよい。)</li> <li>・高尾山口まで近いのだが、あまり知られていない。</li> </ul>	
-----------	--	--

### 魅力・課題マップ (相原地域)

\*文中の ○⇒魅力 ●⇒課題



**凡例**

- 話題になったポイント
- 話題になった道路等
- 話題になったエリア
- 公園・緑地
- 広場・運動場
- 河川・湖池
- 商業施設
- まちづくりルール
- 主な施設

\*地区計画、建築協定・協約、地区まちづくりプラン

**相原中央公園**  
○小学校の若い先生たちが整備したサッカー場が始まりの中央公園は、地域にサッカーも根付き、良い地域資源となっている

**御殿山・七国峠の鎌倉古道**  
○地域の貴重な歴史的資源である  
●はっきり分からない 歩けるように整備されていない

**陽田東地区周辺**  
●宅地開発拡大による自然破壊が懸念される

**丸山団地**  
●アパートの空室、空家が増えている  
●住宅地内に駐車場が多く点在している  
●坂が多く、高齢化とともに高齢者の足の確保が問題になるのでは  
●第一種低層住居専用地域だが、店舗や事務所等も多くある

**梅林**  
○美しい景観が広がる  
○地域の貴重な資源である  
○駅前からすぐの場所に立地しているという点でも貴重  
●周囲でミニ開発が進んでおり、梅林の保全が懸念される

**町田街道沿いに点在する神社、寺院**  
○町田街道に沿って、歴史ある神社、寺院が多く点在している

**大戸交差点先**  
●大戸交差点から先は歩道がなく、暗くて歩くのも不安 自転車・バイクの事故が多い

**大戸緑地**  
○豊かなみどりの資源である  
●道が狭く路面も良くないため、車で訪れることができない

**大地沢青少年センター周辺**  
○ホタルのいる環境が残っている

**相原中央公園から東京家政学院大学にかけての道**  
●道幅が狭く、夜は暗くて、歩くのに不安

**芝生公園**  
○身近な公園として良い。子どもも遊べる空間である

○古い釜跡が数十基残っている

**武蔵岡中学校周辺**  
○ホタルのいる環境が残っている

**特別緑地保全地区のみどり**  
○貴重なみどりの資源である

**丸山団地裏**  
○ホタルのいる環境が残っている

**御殿山の鎌倉古道**

**相原地域全体**

<自然環境>  
○豊かな自然があり、雑木林や山菜が豊富  
○多様な地形が感じられる  
○関東平野の端に位置するという地形の面白さがある  
○雄大な眺望を望むことができる

<散策路>  
○豊かな自然の中の散策路が良い  
○土の道だけで散歩が出来る  
○季節ごとの野の花の移り変わりが楽しい  
●狭く暗い小道が通行しにくい

<歴史・文化>  
○11 町会・自治会各々で地域の行事が盛んで、地域の繋がりも強い  
○大戸ばやしなど、歴史のあるお囃子が残っていて、山車も良い  
○古い石像物が多くある  
○八木重吉の詩に描かれた風景が残っている  
●道標がないため史跡の位置が分かりづらいなど、歴史資産が十分に活かされていない  
●寺社・史跡に公共トイレが少ない

<生活環境>  
○高齢者施設が多い  
○大学が多く立地している  
○野菜スタンドが多くあり、新鮮な地元の野菜が手に入る

○自ら開発した品物を売るこだわりの店が点在している  
○風俗関係の施設が一切ない 子育て環境に向いている

●商店・小売店が少ない  
●医療施設に不備・不足がある  
●農地の規模が小さく、特産品がない  
●市域の西側に位置するという特性から、災害時には交通網の寸断等により物資の供給等の公的支援が期待しにくい

<交通>  
●道路網の整備が不十分  
●車、自転車、歩行者が安全に通行できる幅員6メートル以上の道路が少ない  
●南北間の交通アクセスが不足している  
●南北道路不足の解消が求められるが、道路整備が自然環境に与える影響が大きく、一度失われた自然環境を取り戻すのは難しい  
●バスに頼る生活だが、本数が少なく不便まちっこ（市民バス）の本数も少ない  
●東京医大八王子医療センターを利用する住民は多いが、直行する公共交通機関がないため、車がないと、バスと電車を乗り継いで大きく迂回せざるを得ない

<その他>  
●高尾山口まで近いのだが、あまり知られていない

○中村雨紅の夕やけ小やけの歌碑がある

**相原根岸せせらぎ公園**  
○境川の水に触れ合うことができる

**町田街道**  
○地域の動脈である  
●八千代銀行付近から西側の町田街道では、車や自転車、歩行者が安心して通行できる幅員が確保されていない所がある

**長福寺付近の町田街道**  
●歩道がなかったり狭い場所があり自転車や歩行者が危険

**境川沿いの河川管理用通路**  
●両国橋から西側は途絶える

**相原駅周辺**  
○多くの学生が相原駅を利用する  
○学生が多いため、アパートが多い  
●学生が集まれるような場所や店がない  
●アルバイト先も少ない  
●駅西口に商店街がない  
●バス乗り場が不便  
●ミニ開発が盛んに行われている  
●他地域では、囃子や御輿など世代間交流の機会が多いが、駅周辺では地域の集いが少ない

**相原駅東側**  
○古い歴史あるお屋敷が多い

**堺市民センター**  
●防災拠点としての機能が不十分

**大戸踏切のアンダーパス**  
●整備が進められているが、整備後の交通量の増加を見込むと、その先の渋滞が不安

## (2) 将来像と取組みのアイデア

### 将来像1 ★豊かな自然環境とふれあえるまち

#### ○多様な地形を生かし、里山の環境等を保全する。

- ・ 関東平野の端という地形のおもしろさを生かし、人を呼び込む工夫をする。
  - 取組みのアイデア—
    - \* 日本人の原風景とも言うべき里山の保全とともに、地域外の人を呼び込めるような魅力ある里山づくりを地域の人々の手で進める。
    - \* 駅に近い貴重な梅林を「梅林公園」として保全・活用する。
    - \* 四季を通じて楽しめる緑地づくりを進める。
- ・ 北部丘陵から続くスカイラインを尊重した景観づくりをする（橋の工夫など）。

#### ○自然とふれあえる場づくりを進める。

- ・ 散策路・ハイキングコース・サイクリングロードなど自然にふれあえる場を充実する。
  - 取組みのアイデア—
    - \* 町田街道に並行したサイクリングロード、境川沿いのサイクリングロードを整備する。
    - \* 案内マップの整備、コースの整備、標識の充実、トイレなど休憩施設の充実等
- ・ 水にふれあえる空間を整備する。
  - 取組みのアイデア—
    - \* 境川の河川整備が必要であるが、川の暗渠化は良い方法とは言えない。
    - \* 河川の整備にあたっては、蛇行の面白さや川縁の竹林・樹木など、変化のある景観を活かすことに留意する。歩くスペースも含めて川面を飛び石のように歩く仕掛けがあっても良い。

### 将来像2 ★安全で安心して住みつけられるまち

#### ○自然の中で子育てができる「子育てタウン」づくりを進める。

- ・ 地域としての子育てへ高齢者が参加するしくみを充実する。
  - 取組みのアイデア—
    - \* 高齢者による児童の交通安全指導、防犯上の見守り活動の充実
    - \* 子どものしつけへの参加、遊びの指導などの充実
    - \* 子どもの地域行事への参加機会の充実等
- ・ 駅前の保育施設・医療施設、自然の中の遊び場を充実する。
- ・ ファミリー層が住みやすい住宅を誘導する。
  - 取組みのアイデア—
    - \* ファミリー層向けの住戸面積を確保した住宅・アパートの開発を誘導する。

**○安心して暮らせる医療システムを充実させる。**

- ・医療における広域連携を充実する。

－取組みのアイデア－

\*近隣の大病院とまちの医院との、行政境界を越えた連携の強化（ホットラインシステムなど）

**○安全で快適な住宅地づくりを進める。**

- ・地域の防災拠点を確立する。

－取組みのアイデア－

\*堺市民センターを中心とした地域の防災体制を確立する。

\*緊急時の連絡網の整備、災害対策の為の防災組織の立ち上げなど

- ・防災・防犯の観点から、位置情報が分かりやすい住居表示を進める。

- ・みどり豊かな良好な住環境を保全する。

**○地域コミュニティを活発化する。**

- ・地域での行事や集いの機会を充実する。

－取組みのアイデア－

\*特に駅周辺における地域の行事・集いを充実し、若者の参加を促す。

- ・防災に役立つ人材の発掘・活用を進める。

－取組みのアイデア－

\*地域コミュニティとして、災害時に活躍できる人材の発掘・周知などを進め、災害時の自助・共助に備える。

**○大学・若者が地域と交流できる環境を整える。**

- ・駅周辺地域での地域行事を充実する。

- ・大学や大学生との交流を活発にする。

－取組みのアイデア－

\*大学あるいは大学生が地域と交流する機会を充実する：環境保全活動や地域の行事への参加等

\*若者が集える場を充実する：駅前に若者が集える店を増やす、活動拠点を貸すなど

### 将来像3 ★だれもが安全で便利に行き来できるまち

#### ○環境に配慮した骨格道路づくりを進める。

- ・ 相原駅周辺の道路網整備を進める。
- ・ 都市計画道路の整備をはじめとした、南北の交通アクセスを充実する。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 都市計画道路町3・4・49の整備のほか、既存の道路の活用も含め、南北道路の充実を図る。
- ・ 道路整備は、自然環境に配慮しながら進める。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 道路整備と環境保全のあり方を今後検討する必要がある。

#### ○車だけでなく、歩行者・自転車にとって安全な移動環境を整える。

- ・ 地域の動脈である町田街道の歩道を充実させる。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 車、自転車、歩行者それぞれが安全に通行できるような道路整備を行う。
    - \* 特に、高齢者の車いすにも配慮し、歩行者にとってのバリアフリー整備を充実する。
    - \* そのため、八千代銀行付近から西側を都市計画道路に位置づけ、拡幅整備によって十分な幅の歩道を整備する。
- ・ 町田街道とは別に、地域の自転車交通の中心となる道路を整備する。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 旧町田街道、境川沿いの空間などを活用して、自転車が安全に利用できるルートを整備する。
    - \* 特に町田街道の歩道が狭く危険な箇所を迂回できる、中央公園から東京家政学院大学へかけての道を、安全で快適な自転車用バイパスとして整備する。
    - \* 地域コミュニティの中で、自転車利用のマナーの向上に向けた啓発を行う。
    - \* 自転車用標識を充実する。

#### ○公共交通を充実する。

- ・ 利用しやすい公共交通網を整備する。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 八王子医療センターと相原駅を結ぶ路線、相原駅～東京家政学院大～めじろ台方面、相原駅～高尾山口方面の路線など、広域的バスルートを充実する。
    - \* 坂道が多い住宅地では、高齢者の買い物利便の向上などのため、デマンドバスやデマンドタクシーの活用により、身近な生活圏をカバーする公共交通を充実する。

## 将来像 4 ★人々が気軽に訪れ、親しむまち

### ○相原駅周辺の商業を観光の観点から活性化する。

- ・ 相原産品を活用する。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 相原地域には、自ら開発した品物をおだわりの店が点在している。これらの名品や名店を活かし、広く周知する。
    - \* 地場野菜などの販売拠点などを充実するとともに、JA も含め、特産物を地域で考える機運を高める。
- ・ 駅なかに相原産品を置ける店をつくる。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 地域の人がお品を置けるような仕組みをつくるなど、売店の性格を工夫する。
- ・ 駅西口を中心に、駅前の商業の集積を進める。

### ○歴史・文化、自然環境とふれあえる環境を整備する

- ・ 地域のなかの歴史・文化資源に人を惹きつける仕掛けづくり
  - －取組みのアイデア－
    - \* 寺社、古道など、地域の歴史資源を活かし、歩いて巡ることができるしくみをつくる。：御殿山の鎌倉古道、七国峠～中央公園～鎌倉古道などの散策ルート
    - \* 地域外の人々が訪れてみたくなる魅力的な「目玉」をつくり、整備し周知する。：八木重吉、中村雨紅など
    - \* 案内地図、案内標識、現地における説明板などを充実する。
- ・ 観光利用のインフラとしての公共トイレを充実する。
  - －取組みのアイデア－
    - \* 公共トイレの整備とともに、店舗での貸し出しなど準公共トイレも充実する。
- ・ 大戸緑地を観光資源として活用する。
  - －取組みのアイデア－
    - \* バスルートの整備等によって、大戸緑地へのアクセスを分かりやすくする。
    - \* 高尾山へのハイキングルートや高尾山口と相原を結ぶ公共交通を整備し、高尾山と一体の観光資源として広く周知する。

**参考資料**

---

参加者名簿

Aグループ

地域	お名前（順不同・敬称略）	
相原地域	野路 定義	13名
	土田 恭義	
	守屋 松則	
	諏訪 賢一	
	小玉 知慶	
	乙黒 幹雄	
	石井 義之	
	青木 悠	
	横溝 廣喜	
	阿部 鷺丸	
	阿部 麻子	
	伊東 菜摘	
	宮内 泰之	
	川上 順子	
古山 高通		
米畑 篤		
田口 大輔		
田口 真理子		
中島 孝		
井上 絹子		
鈴木 翔大		
植木 捺子		
北部の丘陵地域	山崎 凱史	11名
	園田 碩哉	
	田中 英夫	
	高清水 傑大	
	西田 隆法	
	田中 基雄	
	高野 健人	
	向井 弘善	
	霧生 貞一	
	木村 彰男	
	岸 洋三	

地域	お名前（順不同・敬称略）	
忠生地域	明石 昭治	11名
	野口 喜昭	
	小森 晶	
	大沼 徹	
	藤澤 吉昭	
	杉嶋 治男	
	近藤 翔平	
	小菅 庸夫	
	高本 明生	
	深谷 修司	
	松田 卓也	
本町田・薬師池地域	柳沼 恵一	11名
	藤根 義信	
	立川 英治	
	櫻井 政志	
	永井 裕久	
	佐藤 松子	
	矢田 輝美	
	海老根 伸明	
	清水 勇樹	
	松田 陽子	
酒井 勇人		

全55名

## Bグループ

地域	お名前（順不同・敬称略）	
鶴川地域	坂本 和夫	12名
	安間 正伸	
	河野 正一	
	夏梅 文和	
	青木 茂	
	南 泰裕	
	望月 彰	
	江渡 英之	
	井出 明人	
	唯野 馨	
	齋藤 祐子	
	中岡 靖	
	玉川学園地域	
根上 倫子		
二宮 敏		
岩上 忠雄		
高橋 靖昭		
鎮目 義雄		
大橋 成夫		
松香 光夫		
村山 徹郎		
沖原 むつ子		
妹尾 定佳		
奥村 拓也		
町田中心地域	坂口 朝美	13名
	土屋 利之	
	高柳 龍雄	
	徳永 武史	
	岡田 憲司朗	
	行田 岳史	
	星山 芳幸	
	黒田 栄太郎	
	新井 邦夫	
	豊田 輝昭	
	近藤 茂	
	園田 鉄司	
	齋藤 真琴	

地域	お名前（順不同・敬称略）	
成瀬地域	田中 米司	13名
	矢口 昇	
	木目田 英男	
	清瀬 壯一	
	西岡 巖	
	北垣 忠久	
	田村 勝司	
	原 正隆	
	小林 一朋	
	八木 正雄	
	荒井 邦	
	前田 晴香	
	渡辺 丈	
南地域	細見 孝雄	13名
	中村 一幸	
	山田 賢三	
	重松 正祐	
	谷村 達夫	
	吉岡 正憲	
	志賀 平治	
	新井 洋介	
	舩橋 玲二	
	高木 友也	
	石橋 正治	
	井上 雅晴	
	高橋 司	

全63名

---

**町田市都市計画マスタープラン（地域別構想編）改定  
「まちづくり検討会」提案書**

---

発行日 2012年（平成24年）3月  
発行者 町田市  
〒194-8520 町田市中町1-20-23  
電話 042-722-3111  
刊行物番号 11-87  
編集 町田市都市計画マスタープラン（地域別構想編）改定  
「まちづくり検討会」事務局  
（町田市都市づくり部都市計画課）  
印刷 株式会社 アルテップ

---